

# 福島第一原子力発電所の廃炉に向けた 中長期ロードマップ改訂について

令和2年1月30日

廃炉・汚染水対策チーム事務局

# 中長期ロードマップ改訂のポイント

- **周辺地域で住民帰還と復興**が徐々に進む中、「**復興と廃炉の両立**」を大原則として打ち出し。  
(リスクの早期低減、安全確保を最優先に進める。)
  - **地域との共生。当面（10年程度）の工程を精査し、「廃炉作業全体の最適化」。**
- **廃止措置終了**までの期間「**30～40年後**」は堅持。

## ①燃料デブリの取り出し

- ➡ **燃料デブリを取り出す初号機と、その取り出し方法を確定。**  
具体的には、**2号機**で、**気中・横から試験的取り出しに着手(2021年内)**。  
その後、段階的に取り出し規模を拡大。

## ②プール内燃料の取り出し

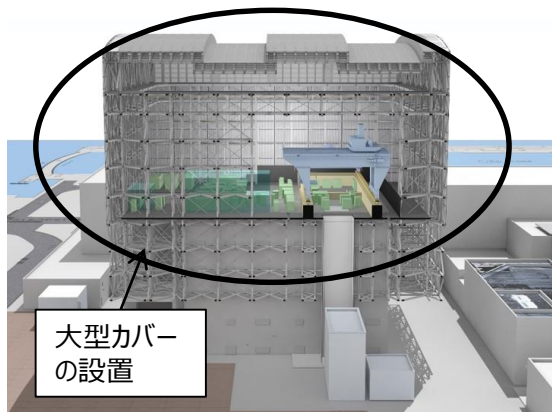
- ➡ **1・2号機で、工法を変更しダスト飛散を抑制。**  
取り出し開始は、**1号機で4～5年、2号機で1～3年後ろ倒し。**  
**2031年内までに、1～6号機全てで取り出し完了**を目指す。

## ③汚染水対策

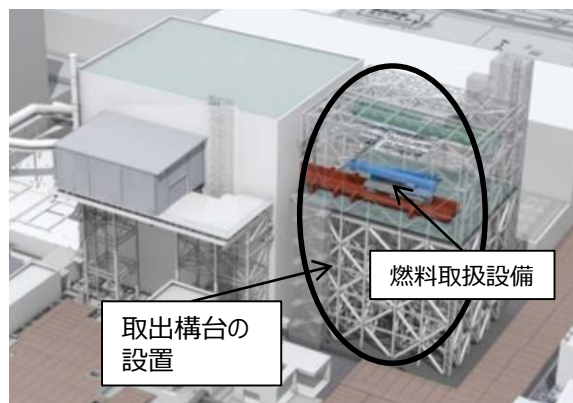
- これまでの対策により、汚染水発生量が大幅に抑制。  
(540m<sup>3</sup>/日(2014年5月) → 170m<sup>3</sup>/日(2018年度))
- ➡ 1日あたりの汚染水発生量について、**2020年以内に150m<sup>3</sup>まで低減させる現行目標を堅持。**  
加えて、**2025年以内に100m<sup>3</sup>まで低減させる新たな目標を設定。**  
※なお、ALPS処理水の取扱いについては、引き続き総合的な検討を進めていく。

## プール内燃料取り出し (ダスト飛散を抑制する工法の採用)

1号機



2号機



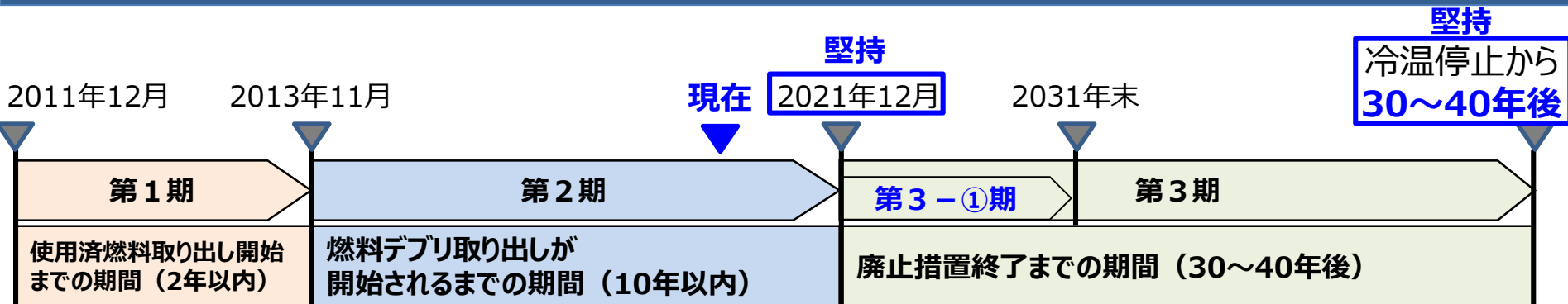
- ダスト飛散の抑制など、安全確保を最優先に進めるべく、工法及び取り出し開始時期を見直す。
- 5・6号機でも燃料の取り出しを進め、2031年内までに全号機での取り出し完了を目指す。

## 燃料デブリ取り出し (2号機 (初号機) における取り出し方法の確定)



- 燃料デブリを取り出すロボットアームを開発中。燃料デブリ取り出しの方法を具体化。
- 2021年から慎重に開始し、段階的に規模を拡大。

# (参考) 改訂中長期ロードマップの目標工程



## 主な目標工程

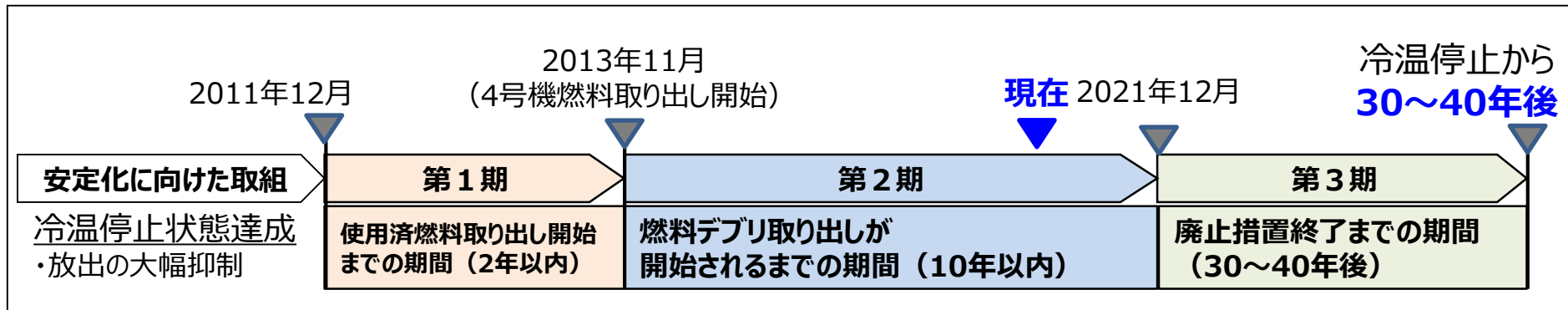
		2017年9月改訂版	2019年12月改訂版
汚染水対策	汚染水発生量を150m <sup>3</sup> /日程度に抑制	2020年内	2020年内
	<b>汚染水発生量を100m<sup>3</sup>/日以下に抑制</b>	—	<b>2025年内 新設</b>
滞留水処理	建屋内滞留水処理完了※	2020年内	2020年内(※)
	<b>原子炉建屋滞留水を2020年末の半分程度に低減</b>	—	<b>2022年度~ 2024年度 新設</b>
燃料取り出し	<b>1~6号機燃料取り出しの完了</b>	—	<b>2031年内 新設</b>
	<b>1号機大型カバーの設置完了</b>	—	<b>2023年度頃 新設</b>
	1号機燃料取り出しの開始	2023年度目処	<b>2027年度~ 2028年度 見直し</b>
	2号機燃料取り出しの開始	2023年度目処	<b>2024年度~ 2026年度 見直し</b>
安全確保・飛散防止対策のため工法変更			
燃料デブリ取り出し	初号機の燃料デブリ取り出しの開始 <b>(2号機から着手。段階的に取り出し規模を拡大)</b>	2021年内	2021年内
廃棄物対策	処理・処分の方策とその安全性に関する技術的な見通し	2021年度頃	2021年度頃
	<b>ガレキ等の屋外一時保管解消</b>	—	<b>2028年度内 新設</b>

※1~3号機原子炉建屋、プロセス主建屋、高温焼却建屋を除く。

## (参考)『中長期ロードマップ』について

- 福島第一原発の廃炉・汚染水対策は、東京電力自らが責任を持って行うことが原則。
- 他方、世界でも前例のない技術的に困難な取組であり、中長期ロードマップに基づき、30～40年後の廃止措置完了を目標に、国も前面に立ち、安全かつ着実に進めている。

### <現行中長期ロードマップの主要工程>



### 国の役割

- 国が「中長期ロードマップ」を策定。
  - 廃炉・汚染水対策関係閣僚等会議で改訂 (議長は**官房長官**。初版は2011年12月)
  - これまで**5回改訂** (前回は**2017年9月**に改訂)
- 同ロードマップに基づき、安全確保を最優先に、リスク低減重視の姿勢を堅持し、中長期の取組を進めている。

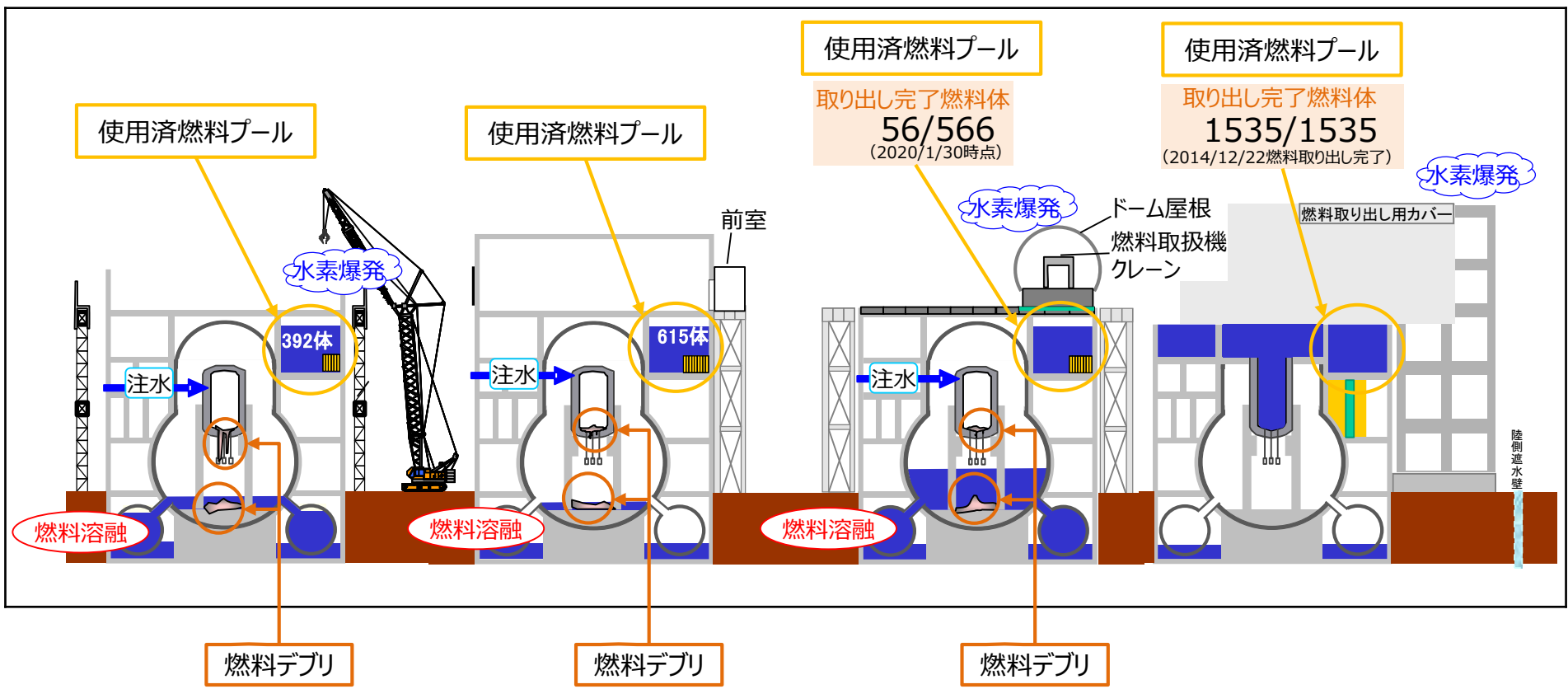
# (参考) 福島第一原子力発電所 1～4号機の現状

1号機

2号機

3号機

4号機

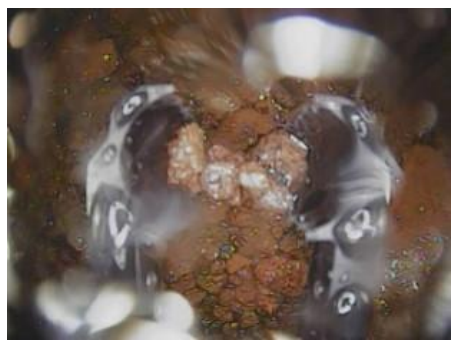


## <1/2号機排気筒の解体>



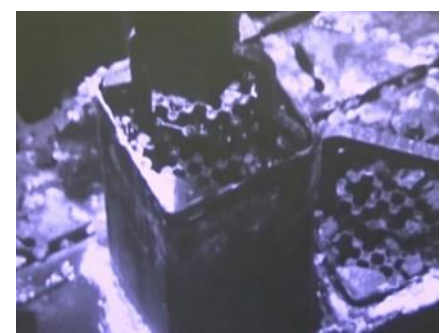
地元企業が元請として参画。【2019.8】

## <燃料デブリ取り出し>



燃料デブリと思われる堆積物をつかんで動かせることを確認 (2号機)。【2019.2】

## <燃料取り出し>



燃料の溶け落ちた炉で初めて、遠隔操作による使用済燃料プールからの燃料取り出しを開始 (3号機)。【2019.4】